

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)

平成29年3月10日

計画の名称	高梁市歴史的町並み環境整備										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)			交付対象	高梁市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な町並みや建造物等の保存・修景・活用等により、住環境の向上と歴史的風致の向上、交流人口の増加を図り、地域文化と心豊かな人を育むまちづくりを実現する。 																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史と伝統に満ちた環境整備をおこない、重点地区及び周辺地区における観光入込客数の増加 35万人/年 (H27) から40万人/年 (H31) に増加 																
定量的指標の定義及び算定式	$\text{観光入り込み客数調査 (産業振興課調べ) に基づき算出}$ $(\text{入り込み客数の増加率}) = (\text{評価時点の入り込み客数}) / (\text{H27当初時の入り込み客数}) \quad (\%)$																
											定量的指標の現況値及び目標値	備考					
											当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)	・(定住自立圏共生ビジョン名)に基づき実施される要素事業:A全て			
											100%		115%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,983百万円	A	1,841百万円	B	0百万円	C	142百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	7.1%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H28	H29	H30	H31					
1-A1-1	住宅	一般	高梁市	直/間	高梁市/個人	高梁地区街なみ環境整備事業	地区施設整備、歴史的風致形成建造物整備、修景施設整備 (助成) 等 面積: 78ha	高梁市						1,011	-	-	
1-A1-2	住宅	一般	高梁市	直/間	高梁市/個人	吹屋地区街なみ環境整備事業	生活環境施設、歴史的風致形成建造物整備等 面積: 210ha	高梁市						830	-	-	
											合計						
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H28	H29	H30	H31					
											合計						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考			
									H28	H29	H30	H31					
1-C-3	活動支援	一般	高梁市	間接	団体	備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業 (高梁・吹屋地区)	活動助成、設備整備補助	高梁市						13			
1-C-5	活動支援	一般	高梁市	間接	団体	松山踊り保存伝承活動推進事業 (高梁地区)	活動助成、設備整備補助	高梁市						2			
1-C-8	施設整備	一般	高梁市	直接	高梁市	吉岡銅山遺跡修復整備事業 (吹屋地区)	施設の再構築	高梁市						20			
1-C-9	施設整備	一般	高梁市	直接	高梁市	広兼邸修復整備事業 (吹屋地区)	施設の再構築	高梁市						107			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
1-C-3	市を代表する伝統文化である備中神楽、渡り拍子の保存伝承育成活動により、地域のコミュニティが守られる。																
1-C-5	市を代表する伝統文化である備中松山踊りの保存伝承育成活動により、地域のコミュニティが守られる。																
1-C-9	歴史的風致形成建造物である広兼邸の再構築により、吹屋地区への集客力が増大し、交流人口の増加が図られ地域の活性化が見込まれる。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考			
									H28	H29	H30	H31					
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	81	127	24	75	
計画別流用 増△減額 (b)	3	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	84	127	24	75	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	84	127	24	22	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	53	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					